

定期報告(ウルグアイ内政・外交:2015年3月)

1. 内政

(1) 大統領・副大統領就任式

- ア 1日、モンテビデオにてバスケス大統領及びセンディック副大統領の就任式が行われた。就任式にはバチエレ・チリ大統領, コレア・エクアドル大統領, ルセーフ・ブラジル大統領, カルテス・パラグアイ大統領, ウマラ・ペルー大統領, カストロ・キューバ国家評議会議長, フアン・カルロス・前スペイン国王, ブドゥー・アルゼンチン副大統領, ガルシア・リナレス・ボリビア副大統領他が出席した。
- イ バスケス大統領及びセンディック副大統領は, 上下両院議員, 大統領経験者, 各国代表团等出席のもと開催された国会上下両院総会(Asamblea General)で宣誓し, 正式に大統領・副大統領に就任した。宣誓後バスケス大統領は約30分就任演説を行った。演説でバスケス大統領はウルグアイ独立の英雄アルティガス将軍に言及しつつ, 自由, 平等, 正義, 民主主義, 決断, 民族自決, 啓蒙, 連帯, 友愛, 統合, 他者の尊重と他者への寛容さ等, アルティガス将軍の事跡の中に見出すことができる諸原則及び価値はウルグアイ人のアイデンティティであり新政権の基礎を成すものであると述べた。
- ウ 国会での就任式後バスケス大統領及びセンディック副大統領は, 特別車両(大統領府によれば, バスケス大統領が初めて入手した自家用車に似た型のフォードソン1951年式で, 就任式に際し友人らから贈られたもの)に乗車し, 大統領権限委譲式典会場である独立広場に移動, 沿道に集まった市民の歓呼に応えた。独立広場にてバスケス大統領はムヒカ前大統領より, 大統領肩章を委譲された。式典後, 就任式出席者は順に壇上に登り, バスケス大統領及びセンディック副大統領に祝意を表した。
- エ 午後8時, バスケス大統領はテレビ・ラジオを通じ国民に向け施政方針演説を行った。演説でバスケス大統領は立憲共和制の諸原則を遵守すると述べた上で, 新政権は以下の三つの柱に基づいて運営されると述べた。
- 第一の柱として内政方針が挙げられ, 地方分権化, 市民社会との対話, 人権擁護, 社会的包摂, 平和的共存, 暴力と差別への反対, 電子政府化, IT化の促進に関する政策が掲げられた。第二の柱として公共政策・社会政策が挙げられ, 包括的弱者ケア制度(Sistema Nacional Integrado de Cuidados)の創設, インフラ整備, 教育改革, 保健衛生, 住居, 文化, 体育・スポーツ・レクリエーション教育に関する政策が掲げられた。第三の柱として経済, 生産, 労働, 環境及び気候変動が挙げられ, 財政, 競争力, 科学技術及び環境, 税制, 国家開発基金(FONDES)に関する政策が掲げられた。

(2) 第48回通常国会

ア 5日付で大統領府が国会に提出した法案は次の通り。新政権発足後最初の法案となる。センディック副大統領は、これら9法案のうち、改正分権化・市民参加法案以外の法案の緊急度は高くなく、国会にて時間をかけて審議されるべきものであると述べた。

- ・改正分権化・市民参加法案
- ・大統領府スポーツ局の新設に関する法案
- ・開発基金(FONDES)の制度的地位に関する法案
- ・国家競争力機構(Sistema Nacional de Competitividad)の新設に関する法案
- ・個人所得税(IRPF)の納税額査定方法の改定に関する法案
- ・国家検察局の新設に関する法案
- ・透明性・公共倫理委員会の新設に関する法案
- ・大統領府憲法事務局の新設に関する法案
- ・包括的弱者ケア制度(Sistema Nacional Integrado de Cuidados)の新設に関する法案

イ 27日、改正分権化・市民参加法第19. 319号(18日可決)が公布された。同法は分権化・市民参加法第18. 567号(2009年9月公布)第24条の規定に基づき、行政単位及び選挙区の単位である市(Municipio)を定めたもの。改正分権化・市民参加法のもと次期地方選挙では19の県知事・589の県議会議員に加え、112の市長が選ばれる。なお市長公選制度は2010年地方選挙で初めて実施され、今回が2度目となる。

(3) 次期モンテビデオ県知事選挙

4日付でCifra社が公表した次期モンテビデオ県知事選挙(5月10日実施)に関する世論調査結果は次の通り。

- ア 拡大戦線(FA):計50%(内訳はダニエル・マルティネス候補31%, ルシア・トボランスキー候補15%, FAのいずれかの候補4%)
- イ コンセルタシオン党:計19%(内訳はアルバロ・ガルセ候補10%, エガルド・ノヴィク候補5%, リカルド・ラチェティ候補2%, コンセルタシオン党のいずれかの候補2%)
- ウ その他候補,「分からない」, 白票, 棄権:計31%

2. 外交

(1) 谷特派大使の大統領就任式出席

2月28日から3月2日にかけて谷公一特派大使(衆議院議員, 復興大臣補佐官, 日・ウルグアイ友好親善議員連盟事務局長)が当国を訪問した。

1日、谷特派大使は首都モンテビデオの国会及び独立広場で開催された大統領

就任式に出席した。また2日、谷特派大使は大統領府にてバスケス大統領と会談した。会談で谷特派大使は大統領就任に祝意を表した上で、新政権下でも引き続き日・ウルグアイ関係が進展することに期待を示し、また東日本大震災の際のウルグアイ政府の支援につき謝意を述べた。バスケス大統領は、就任式への谷特派大使の参列に謝意を表すとともに、自身の訪日経験にも触れつつ、日本国民への尊敬の念と日・ウルグアイ関係を発展させる意欲を表明した。

(2) 要人往来

ア 2日、バスケス大統領は、大統領就任式出席のため当国を訪問中のラウル・カストロ・キューバ国家評議会議長と会談した。会談には両国閣僚が複数同席した。大統領府によれば会談では両国関係が最良の状態にあることが確認され、教育、保健、社会開発及び科学技術分野における両国の相互協力の成果と今後の更なる強化、相互投資を深化させることの重要性等が話し合われた。

イ 6日、ニン・ノボア外相がアルゼンチンを訪問し、ティメルマン外相と会談した。会談ではバスケス大統領とフェルナンデス亜大統領との首脳会談の可能性、両国の港湾利用及び整備に係る諸課題、二国間合同委員会のこれまでの活動の成果等が話し合われた。また駐亜ウルグアイ大使の交替が通知された。

(3) 国際関係

ア 14日、ニン・ノボア外相がエクアドルのキトにて開催された南米諸国連合(UNASUR)外相審議会臨時会合に出席し議長を務めた。会合ではベネズエラ・米関係が話し合われ、右に関する二つのUNASUR加盟国外相共同声明が全会一致で採択された。共同声明では、2015年3月9日付米国大統領令の拒否、米国政府に対するベネズエラ政府との対話の呼びかけ、ベネズエラ国内状況は同国憲法が定める民主的枠組みに基づいて解決されるべきとの表明、ベネズエラにおける次期国会議員選挙の実施支援表明等が述べられている。

イ 18日、米国ワシントンにて第49回米州機構(OAS)特別総会が開催され、次期OAS事務総長選挙が行われた。開票の結果、ルイス・アルマグロ前外相が次期事務総長に選出された。ニン・ノボア外相は同特別総会における演説で、アルマグロ前外相に寄せられた支持はウルグアイ及びウルグアイが歴史的に擁護してきた諸原則への支持であると理解したと述べた。

3 治安関係

(1) ボノミ内務大臣が、治安維持のための方策として、警察官の勤務時間を変更する方策を打ち出したところ、一部の警察官から反対の声が上がり、勤務を拒否し、モンテビデオ海岸部の警らに一部支障を来した。本件は、反対をしている警察官が222サービス(勤務時間外におけるアルバイト可能な制度)におけるアルバイト時間に支障を来す、という理由であった。なお、反対している警察官は警察官全体に占める

割合からすれば、多くない。そして、警察官の給料は数年前に比して数倍増加しており、警察官の生活支援のための222サービスが必要か否かの議論に発展している。

- (2) ラジェラ・モンテビデオ県警察本部長は、偽の誘拐事件を語り、電話をしてくる犯罪があると公表し、もしこのような電話がかかってきても、冷静に対応するよう呼びかけた。本件は、犯人が家族を誘拐したと自宅へ電話をかけ、身代金を要求する方法で、誘拐の事実はない。
- (3) 内務省の「グアルディアン計画」が進行中である。3年ほど前から計画されており、当時は国民等からの大反対があり、計画が中断していたが、通信(固定式電話、携帯電話)、インターネット等の情報網を管理し、不審な動き(アクセス)のあるものを抽出し、テロや一般犯罪に関係している等の捜査を行うものである。
- (4) 警察はコルドン地区等に見られる「タティス」(犯罪集団)対策として、騎馬警察隊を投入した。騎馬は小回りがきき、パトカーやバイクでは通行できない場所でも警らすることができるメリットがある。
- (5) ウルグアイはラテンアメリカ諸国内で国民の数に比して警察官の数が最も多い。ウルグアイは人口10万人当たり、809人の警察官がいる。ラテンアメリカ諸国の平均数は人口10万人当たり、368人である。警察官の数に比べ、近年治安が悪化しており、治安向上がウルグアイの課題である。
- (6) 女性警察官が拳銃を強奪されそうになり怪我をした事件に関し、犯人である不良グループは、警察官を1人殺すことによってトロフィーを1つ得たと同じ価値がある、と豪語しており、警察官の身の安全の確保について課題となっている。

(了)